

**製品名: MK ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab13923**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	18kDa

**抗原情報**

遺伝子名	MDK
別名	MDK; MK1; NEGF2; Midkine; MK; Amphiregulin-associated protein; ARAP; Midgestation and kidney protein; Neurite outgrowth-promoting factor 2; Neurite outgrowth-promoting protein
遺伝子 ID	4192.0
SwissProt ID	P21741
免疫原	抗血清はヒト MDK の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 94-143

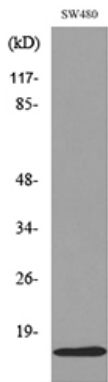
**背景**

この遺伝子は、ヘパリンに結合し、レチノイン酸に反応する分泌型成長因子の小ファミリーに属するタンパク質をコードしています。コードされているタンパク質は、特に腫瘍形成期において、細胞の成長、遊走、血管新生を促進します。この遺伝子は、様々な疾患の治療薬として標的とされています。複数のアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが観察されています。[RefSeq 提供、2012年7月],機能: ヘパリン結合活性および成長促進活性を有する。動脈損傷後の新生内膜形成に関与し、おそらく白血球動員を媒介する。また、胎児期の副腎の発達初期にも関与する。誘導: ヘパリンおよびレチノイン酸による。類似性: プレイオトロフィンファミリーに属する。サブユニット: ホモ二量体。、

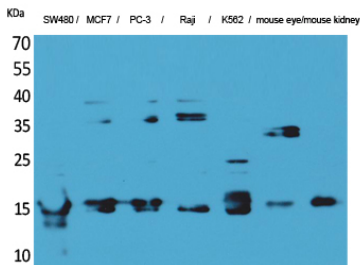
## 研究分野

神経科学

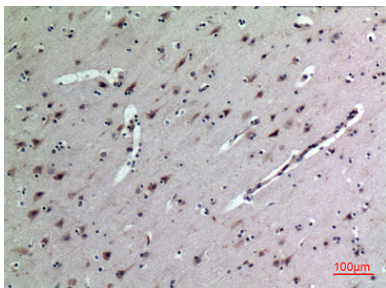
## 画像データ



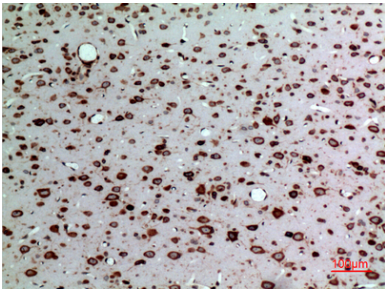
MDK 抗体を使用した、SW480 細胞の溶解液のウェスタンブロット分析。



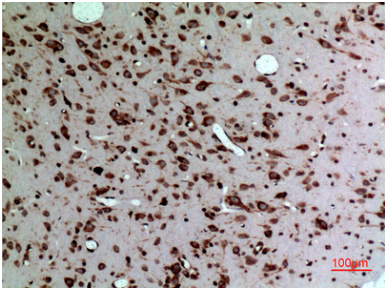
SW480、MCF7、PC-3、Raji、K562、マウス眼、マウス腎臓細胞の MK ポリクローナル抗体を用いたウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈されました。



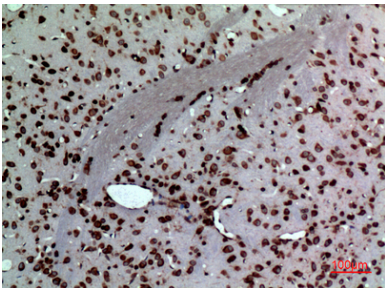
パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



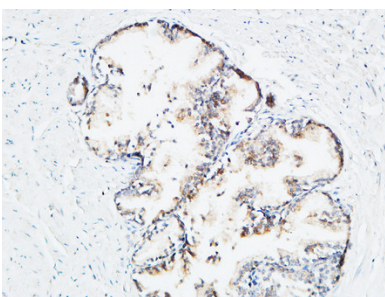
パラフィン包埋ラット脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



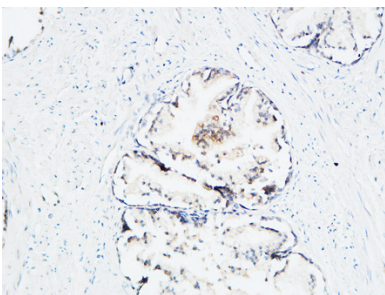
パラフィン包埋ラット脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



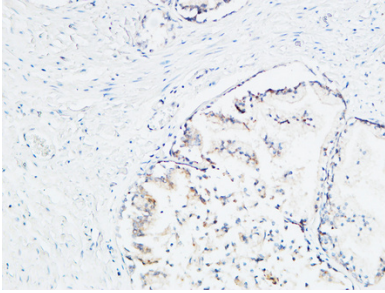
パラフィン包埋ラット脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト前立腺の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 (4°、一晚) に希釈した。2、抗原賦活化には高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用した。3、二次抗体を 1:200 (室温、30分) に希釈した。



パラフィン包埋ヒト前立腺の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 (4°、一晚) に希釈した。2、抗原賦活化には高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用した。3、二次抗体を 1:200 (室温、30分) に希釈した。



パラフィン包埋ヒト前立腺の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 (4°、一晚) に希釈した。2、抗原賦活化には高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用した。3、二次抗体を 1:200 (室温、30分) に希釈した。